

特集

臨床工学技士が知っておきたい 医療系学会



編集責任

自治医科大学附属さいたま医療センター

百瀬直樹 MOMOSE, Naoki

循環器に関連する生命維持管理装置には、人工心臓・体外式膜型人工肺 (ECMO)/経皮的肺補助装置 (PCPS)・補助循環用ポンプカテーテル・大動脈内バルーンポンピング (IABP)、そして補助人工心臓 (VAD) などがある。このような装置の操作・管理を行ううえではさまざまな情報を得ておく必要があるが、一般に公開されている Web ページや書籍の閲覧だけでは、最新の話題をはじめ、臨床家や研究者それぞれの工夫・具体的なテクニックまでは得られない。また、技術職において経験は貴重であるが、大きなトラブルや特殊な症例を経験することはまれである。

学会や研究会では研究論文・それらをまとめた解説論文・症例報告などを集め、会員に対して雑誌の配布や情報の配信をしている。また、教育や技術スキルを認証するため、教育セミナーや認定試験を実施したり、研究促進のため研究資金を提供したりすることもある。さらに学術大会では、多くの会員が研究成果をはじめ臨床上の工夫や経験した症例などを報告している。シンポジウムなどの討論や実技セミナー、メーカの展示や説明会なども企画される。

学会や研究会に入会することで、さまざまな情報を入手でき、教育セミナーなどを受講して技術認定を受けることができる。また、投稿し

た論文に対して助言を受けることもできる。そして、研究資金を得たり、研究結果で賞を受けたりすることは研究の糧となり弾みにもなる。学術大会に参加すれば、学術発表や討論会を聴くことができるだけでなく、自分の研究や症例報告を行えることに加え、それに対する意見や評価を受けることができる。学術大会へ参加することで、同じような仕事をする臨床工学技士や他の職種のスタッフと知り合うことができ、同じ悩みや疑問を共有し協力し合える友人の輪も広がるであろう。

本特集のなかで循環領域の学会として取りあげた、(一社) 日本人工臓器学会は人工臓器の研究者や実務者がおもな会員である。(一社) 日本体外循環技術医学会は人工心臓や補助循環業務に従事する臨床工学技士がおもな会員である。日本臨床補助人工心臓研究会はおもに VAD の臨床業務に従事する医療者や研究者が会員である。多分野領域の学会にも循環器関連のセクションがあり、いずれも読者の助けになる学術団体である。視野を広げるために、自分の業務と異なる領域の学会に参加することにも大きな意義がある。

本特集をきっかけに、読者の臨床業務や学術活動のステップアップにつながれば幸いである。